



2020年8月7日

各位

会社名 ダイダン株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 藤澤 一郎
(コード番号: 1980 東証第1部)
問合せ先 取締役執行役員業務本部長 亀井保男
(TEL 06-6447-8003)
(URL <https://www.daidan.co.jp/>)

2021年3月期業績予想に関するお知らせ

2020年5月14日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の業績予想につきまして下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 2021年3月期 通期連結業績予想

(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想 (B)	156,000	8,000	8,200	5,700	263.09
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	169,229	9,063	9,282	6,399	291.29

2. 2021年3月期 通期個別業績予想

(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想 (B)	155,000	8,000	8,200	5,700	263.09
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	167,245	8,969	9,188	6,341	288.65

3. 通期業績予想について

当社は、5月14日に公表した2020年3月期決算短信において、新型コロナウイルス感染症の拡大による事業への影響を合理的に算定することが不可能であったため、業績予想を未定としておりましたが、その後、一部の海外工事を除き概ね全ての工事が施工を再開しており、これまでの業績への影響額を合理的に算定できるようになったこと、及び足元の受注環境について現時点での入手可能な情報から得られた判断に基づく業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

受注工事高は、新型コロナウイルス感染症の影響による今後の国内外の設備投資需要の減少により、前期実績値170,121百万円に対し、9,121百万円減(△5.4%)の161,000百万円程度となる見通しです。

売上高は、同感染症の拡大やそれに伴う緊急事態宣言を受け、第1四半期連結会計期間中に受注予定であった案件が翌四半期以降に延期となったことや、施工中工事の進捗遅延などにより、前期実績値169,229百万円に対し、13,229百万円減(△7.8%)の156,000百万円程度となる見通しです。

利益面につきましては、完成工事高の減少により、営業利益は前期実績値の9,063百万円から1,063百万円減(△11.7%)の8,000百万円程度となる見通しです。

経常利益は、営業利益の減少により、前期実績値の9,282百万円から1,082百万円減(△11.7%)の8,200百万円程度となる見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の減少により、前期実績値の6,399百万円から699百万円減(△10.9%)の5,700百万円程度となる見通しです。

業績予想は、おもに連結財務諸表提出会社(当社)の業績予想によるものです。

(注) 上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、新型コロナウイルスの感染拡大や収束状況等様々な要因により変動する可能性があります。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

以上